

## 11 番（小川義昭君）

次は、保育園などの安全対策に関してお尋ねします。

昨年3月、大分県宇佐市の認定こども園に、刃物を持った男が侵入し、男児と女性2人の計3人が負傷する事件がありました。またことしの3月には、金沢市役所内で、市職員の男女4人が男に包丁で刺され、病院に搬送された事件が発生しました。

これらの事件を受け、本市においては、凶器所持の不審者に対応するため刺股を購入し、不審者の動きを封じて被害を防止する対策を講じました。

刺股はU字型の金具に二、三メートルの柄がついており、金具の部分で相手の首や腕などを壁や地面に押しつけて捕らえる道具であります。実際、市役所にある刺股を手にして操作してみると、なかなか思うように扱うことができず、ましてや女性となると大変で、逆に不審者に奪い取られる可能性もあり、そうすると反対に刺股が一変して凶器になり得ることもあります。

そこで、今注目されているのは、改良型の刺股で、長さは1メートル70で、先端に足を挟む装置が取り付けられており、相手に接触すれば挟み込んで離さない仕掛けになっています。従来の刺股と違って、軽くて頑丈で操作が簡単、しかも100キロの力で引っ張っても爪が外れることがなく、ずっと力を加えて押さえ込まなくても、相手の動きを封じられるので、女性でも簡単に使えるのが特徴であります。当然侵入者に対しては、警察に通報すること、これはもちろんですが、応急的な対策として、今申しましたように、侵入した不審者に対して、1人が児童等を守るためにモップなどで対応する。そのすきにこの刺股で足を挟むというふうなことでございます。

さきの認定こども園での不審者による殺傷事件を教訓に、本市において、子供たちの安全を確保することから、女性が大半を占める職場である保育所や認定こども園などに取り入れることにより、子供と保育士の安全を確保し、安心して子供を預けられる施設環境を整えることができるのではないのでしょうか。公立の保育所や幼稚園への導入はもちろん、私立のこども園などにも推奨していただきますことを提言いたします。なお、この改良型刺股の費用は消火器程度の金額だそうです。また定期的な訓練も必要かと考えますが、あわせて見解をお聞かせください。